

# 第7章 街づくり

## ◆施策体系

誰もが安全で快適に暮らせる自然と調和した街づくりを進めます	<b>1 土地利用</b>
	1 計画的かつ合理的な土地利用の推進
	2 所沢らしい景観まちづくりの推進
	3 基地返還と跡地利用の促進
	<b>2 市街地整備</b>
	1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進
	2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進
	3 市街地整備の適正な誘導
	<b>3 道路</b>
	1 道路計画の推進
	2 幹線道路の建設推進
	3 生活道路の整備推進
	4 歩行者・自転車環境の整備推進
	5 道路環境の整備
	<b>4 交通</b>
	1 交通政策の推進
	2 安全で快適な交通環境の整備
	3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実
	<b>5 上水道</b>
	1 水資源の確保と有効利用
	2 安全な水の安定供給
<b>6 下水道</b>	
1 下水道事業経営の効率化	
2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全	
3 災害に強い下水道整備の推進	
<b>7 住宅・住環境</b>	
1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備を推進	
2 適正な公営住宅の管理・運営	
3 住生活の安定と質の向上	

# 第1節 土地利用

～ 魅力あるまちとして、人が集うまち ～

## 7-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進

(千円)

最優先	概要	所沢市域全図作成事業	都市計画課	新規	H27	36,000
				期間: H27	H28	
				市域全図は、市民等に販売している都市計画図、都市計画情報図及び各課で作成する各種図面の基図となっている。現在の全図は前回の修正から10年が経過し、精度が劣化していることから最新の航空写真による全図を新たに作成する。	H29	
					H30	
優先	概要	街づくり支援事業	都市計画課	既存	H27	110
				期間: H17	H28	110
				所沢市街づくり条例に掲げる市民主体の街づくりの実現を目指す協議会に対して情報提供や助言、アドバイザーの派遣等による支援を行うとともに街づくりに関心のある市民に対し街づくり講座を開催する。	H29	110
					H30	110
重要	概要	区域区分見直し事業	都市計画課	既存	H27	933
		用途地域見直し事業	都市計画課	既存	H27	47

## 7-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進

(千円)

優先	概要	景観まちづくり支援事業	都市計画課	重点	指標	既存	H27	1,367
				期間: H23	H28	1,380		
				所沢市の良好な景観の形成の実現に向け、「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」に基づき、市民主体の景観まちづくりの取り組みを支援する。	H29	1,311		
					H30	1,425		

## 7-1-3 基地返還と跡地利用の促進

(千円)

最優先	概要	東西連絡道路整備事業	企画総務課 (基地対策室)	指標	既存	H27	160,000
				期間: H26～	H28	400,000	
				米軍所沢通信基地で一部返還合意された東西連絡道路用地の返還に係る条件を満たすため、市及び国で取り決めたそれぞれの負担区分により、倉庫・防火水槽等、基地内施設の建築や既存倉庫等の撤去及び東西連絡道路の敷設を市において実施する。	H29	400,000	
					H30	300,000	
重要	概要	東西連絡道路用地返還事業	企画総務課(基地対策室)	既存	H27	*事業費は「基地対策事業」に含む	

### ◆◆◆ 計画期間における目標指標

都市景観や街並みの満足度		都市計画課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	66.9		現状値以上			
単位 : %						
【説明】 都市景観や街並みの施策に対する市民満足度を測る指標です。 現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、所沢市の景観や街並みに満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。 目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。						

東西連絡道路の整備		企画総務課(基地対策室)				
現状値	H26	目標値	H27	H28	H29	H30
	調査		設計	工事	工事	工事
単位 : -						
【説明】 米軍所沢通信基地で一部返還合意された東西連絡道路の整備進捗状況を示す指標です。 現状は、平成26年度の整備過程を表しています。 目標は、平成28年度に工事着工し、計画的に整備を進めるものです。						

## 第2節 市街地整備

～ 地域の特性を活かした安全で活力ある街 ～

### 7-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進

(千円)

最優先	旧市役所庁舎跡地等活用事業	経営企画課	重点	指標	既存	H27	9,980	
			期間: H26～			H28	未定	
	概要	旧市役所庁舎及び旧文化会館一帯について、市の中心部に位置するという優位性を生かし、中心市街地の活性化に資するような形での将来的な活用の方向に向けて、調査・検討を行う。					H29	未定
							H30	未定
	所沢駅西口地区まちづくり事業	中心市街地整備課	指標	既存			H27	61,925
			期間: H13～H35			H28	111,264	
	概要	西武鉄道所沢車輛工場跡地を含む所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行による街づくりを進める。					H29	338,664
							H30	1,512,300
	日東地区まちづくり事業	中心市街地整備課	指標	既存			H27	99,205
			期間: H16～H33			H28	1,224,598	
概要	日東地区は、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、安全で快適な都市環境への改善並びに計画的で適正な土地利用を誘導するため、民間活力による都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る市街地再開発事業等の支援による街づくりを進める。					H29	275,989	
						H30	1,148,789	

優先	ファルマン通り交差点改良事業	中心市街地整備課			既存	H27	687	
			期間: H26～H31			H28	141,220	
	概要	中心市街地の活性化と安全性の高い街づくりを進めてくためには、現在事業化を進めている所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する中央通り線の整備時期に合わせて道路改良事業を進め、ファルマン通り交差点の交通処理能力と安全性の向上を図る。					H29	142,784
							H30	2,202
	(組合)優良建築物等整備事業補助事業	中心市街地整備課			既存	H27	15	
			期間: H3～			H28	35	
概要	中心市街地の一部地区において、市街地環境の整備改善と良好な都市型住宅の供給を積極的に誘導するため、権利者により組織された組合が行う優良建築物等整備事業に対して、指導・助言、補助金の交付などの支援を行う。					H29	35	
						H30	35	

重要	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	中心市街地整備課			既存	H27	0
----	------------------	----------	--	--	----	-----	---

### 7-2-2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進

(千円)

最優先	北秋津・上安松地区まちづくり事業	都市整備課			既存	H27	15,335	
			期間: S59～			H28	130,152	
	概要	所沢駅近接地区にふさわしい街づくりを目指し、立地環境や関係者の意向を踏まえながら、土地区画整理事業により道路、公園、下水道等の都市基盤を総合的に整備し、防災面や住環境の向上を図り、安心・安全に生活できる街づくりを行う。					H29	130,152
							H30	130,152

優先	狭山ヶ丘土地区画整理事業	狭山ヶ丘区画整理事務所			既存	H27	207,000	
			期間: S62～H33			H28	256,730	
	概要	道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的として、施行面積29.7haにおいて土地区画整理事業を実施する。					H29	700,347
							H30	399,156

### 7-2-3 市街地整備の適正な誘導

(千円)

重要	地区計画推進事業	都市計画課			既存	H27	78
----	----------	-------	--	--	----	-----	----

◆◇◆計画期間における目標指標

所沢駅の1日平均乗降客数

中心市街地整備課

現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	96,485					100,000



単位：人

【説明】本市の表玄関となる所沢駅の利用状況を示す指標です。  
現状値は、平成25年度の1日における平均乗降客数です。  
目標値は、平成30年度までに100,000人をめざすものです。

地区計画・建築協定の策定地区数

都市計画課・建築指導課

現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	33					36



単位：地区

【説明】市街地整備の取り組み状況を示す指標です。  
現状値は、平成25年度の地区計画・建築協定の地区数です。  
目標値は、平成30年度までに36地区をめざすものです。



市庁舎から望む中心市街地



所沢駅西口の車輛工場跡地周辺



地区計画地区の街並み



所沢駅周辺

### 第3節 道路

～ 人と環境に優しく、誰もが安全・快適に道路を利用できるまち ～

#### 7-3-1 道路計画の推進

(千円)

最優先	北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H27	288,586
			期間: H6～H35		H28	1,466,000
	概要	国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点まで延長5,500mの道路で幹線道路の環状型ネットワークを整備し交通渋滞の緩和を図る。これまで延長3,550mが開通済みであり、全線開通に向けて整備促進を図る。			H29	342,000
					H30	684,000
松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H27	70,365	
		期間: H16～H28		H28	405,000	
概要	新所沢跨道橋通りから狭山市内の都市計画道路所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、計画的な整備により交通の利便性の向上とともに交通渋滞緩和と安全確保を図る。これまで延長680mが開通済みで、現在は延長736mの整備区間の建設を進める。			H29		
				H30		

重要	(仮称)所沢バイパス整備事業	都市計画課	既存	H27	0
	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	計画道路整備課	既存	H27	0
	所沢村山線道路築造事業	計画道路整備課	既存	H27	0
	和田本郷線道路築造事業	計画道路整備課	既存	H27	0

#### 7-3-2 幹線道路の建設推進

(千円)

重要	(県)東京狭山線道路建設促進事業	計画道路整備課	既存	H27	0
	(県)飯能所沢線道路建設促進事業	計画道路整備課	既存	H27	31,070

#### 7-3-3 生活道路の整備推進

(千円)

最優先	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業	道路建設課	既存	H27	131,179	
			期間: H21～30		H28	64,100
	概要	上藤沢・林・宮寺間新設道路のうち、第1工区として国道463号バイパスから浅間山通りまでの区間整備を進め、早期部分開通を目指しており、本事業はこの区間のうち人間市境から市内林地区に至る所沢市分約460mを整備する。			H29	64,100
					H30	144,100

優先	道路改良事業	道路建設課	指標	既存	H27	153,711
			期間: S25～		H28	262,800
	概要	狭あい道路の拡幅や交差点の改良を行い、安全性・利便性の向上や渋滞の緩和を図る。また、歩行者交通量の多い路線については、歩道を整備し、安心・安全な歩行者空間を確保する。			H29	226,700
					H30	180,700
	生活道路整備事業	道路建設課	既存	H27	180,680	
期間: H8～			H28	198,720		
				H29	202,400	
概要	平成8年4月1日に施行された生活道路拡幅整備要綱にもとづき、建築行為時等に建築主の協力を得て道路中心線から2.1mの後退等の拡幅整備をする。生活環境の向上や災害時の避難路確保等を図ることができる。			H30	202,400	

#### 7-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進

(千円)

最優先	県道久米所沢線歩道整備事業	計画道路整備課	新規	H27	1,227	
			期間: H26～H30		H28	125,500
	概要	都市計画道路中央通り線と一部分重複する一般県道久米所沢線の東住吉交差点から北へ向かい、市道1-579号線先の延長140mの区間について、歩行者等の安全を確保するため、県の委託により歩道整備に係る用地買収等を実施する。			H29	100,000
					H30	100,000

優先	新所沢駅西口駅前広場改修事業	計画道路整備課	既存	H27	0	
			期間: H22～H30		H28	3,491
	概要	新所沢駅西口駅前広場の区域面積増に伴い、拡張整備を行うとともに、平成28年度に総合福祉センターが開設されることからバリアフリー化を推進するもので、駅前広場の改修を実施する。			H29	7,000
					H30	90,000

優先	市道4-245号線(ハナミズキ通り)歩道等整備事業 業	道路建設課	既存	H27	80,000
			期間: H19~30	H28	50,000
	概要	自然災害に対する道路の防災機能の強化、安心・安全な歩行空間の確保、生活環境および街なみ景観の向上を図るため、バリアフリー構造の歩道整備と電線類の地中化を行う。		H29	50,000
				H30	50,000

### 7-3-5 道路環境の整備

(千円)

最優先	道路照明灯LED化整備事業	建設総務課	重点	新規	H27	7,200
			期間: H27~		H28	86,400
	概要	マチごとエコタウンの実現に向け、道路照明灯をLED化し、市域における温室効果ガスの削減及び道路照明灯に係る消費電力の抑制、維持管理費用の削減を図る。			H29	86,400
					H30	86,400
清流苑第二の橋築造事業	道路建設課	既存		H27	12,500	
		期間: H26~31		H28	54,000	
概要	所沢市側への接続通路が1橋しかない下安松の清流苑地区での通行の利便性や、災害時における避難路確保のため、新たに「第二の橋」として築造整備する。			H29	50,000	
				H30	50,000	

優先	道路照明灯維持管理事業	建設総務課	既存	H27	149,000
			期間: S53~	H28	未定
	概要	歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図るため、所沢市照明灯設置基準を制定し、主要路線を市が設置維持管理する道路照明灯管理路線と定め、道路照明灯の設置と維持管理を行う。		H29	未定
				H30	未定
	道・水路確定測量事業	建設総務課	既存	H27	2,668
			期間: S53~	H28	2,668
	概要	道路法においては、道路管理者はその管理する道路の台帳を調製し、これを保管しなければならない。こうしたことから、国土調査完了地域での道水路確定測量を計画的に実施し、座標を有した復元可能な道路図面を整備する。		H29	2,717
				H30	2,717
	道路舗装事業	道路建設課	既存	H27	29,000
			期間: S25~	H28	34,500
	概要	ほこりや騒音、水溜り等を防止し、生活道路としての機能的な整備と良好な住環境の改善を図るため未舗装道路の舗装整備を行う。		H29	35,200
				H30	35,200
	橋りょう長寿命化修繕事業	道路維持課	既存	H27	15,504
			期間: H26~	H28	13,000
概要	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕を行うことで、橋りょうの延命化及び維持管理費の縮減を図る。平成27年度は前年度に行った実施設計に基づき、国庫補助金を活用して修繕工事を行う。また国庫補助金の対象外の道路橋について修繕の設計を行う。		H29	15,278	
			H30	17,315	
道路施設修繕事業	道路維持課	既存	H27	500,000	
		期間: S25~	H28	540,600	
概要	市内5,860路線、約1,197kmの市道において、市民からの通報や道路パトロールにより発見した道路損傷箇所や市民からの要望箇所について、現地調査を行い、速やかに修繕等の対応を図ることで道路利用者の安全確保と沿道の生活環境の保全を図る。		H29	561,408	
			H30	572,204	
街路樹管理事業	道路維持課	既存	H27	99,000	
		期間: S49~	H28	99,000	
概要	都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的に剪定、除草を行う。また病気による立ち枯れや樹木の空洞化により倒木の恐れがある街路樹は、樹木医診断を行い必要に応じて伐採などの措置をとり、適正な街路樹の管理を行う。		H29	100,834	
			H30	100,834	

重要	防犯灯補助事業	建設総務課	重点	既存	H27	64,000
	道路舗装改修事業	道路維持課		既存	H27	100,000
	放置車両処分事業	道路維持課		既存	H27	123
	路上違反広告物除却事業	道路維持課		既存	H27	1,288

◆◇◆計画期間における目標指標

**都市計画道路の整備状況** 計画道路整備課

現状値	H25
	69

目標値	H27	H28	H29	H30
			→	71

単位：%

【説明】 都市計画道路の整備状況を示す指標です。  
現状値は、市内39路線88,540mの延長に対しての、平成25年度の進捗率です。  
目標値は、平成30年度までに71%をめざすものです。

**幹線道路を利用した車での平均移動時間** 計画道路整備課

現状値	H26
	18

目標値	H27	H28	H29	H30
			→	17

単位：分

【説明】 車での移動時間の短縮から道路整備の取り組み状況を示す指標です。  
現状値は、平成26年度における所沢市役所から幹線道路を利用した東西南北のまちづくりセンター（柳瀬・三ヶ島・吾妻・富岡）までの平均移動時間です。  
目標値は、平成30年度までに17分をめざすものです。

**規格改良済車道延長** 建設総務課

現状値	H25
	528

目標値	H27	H28	H29	H30
			→	538

単位：km

【説明】 道路整備の取り組み状況を示す指標です。  
現状値は、専用自転車歩行者道を除いた市道のうち、平成25年度までに舗装され、両側に側溝が整備されているなどの改良済みの道路延長距離です。  
目標値は、平成30年度までに538kmをめざすものです。



北野下富線（所沢市北中）



電線地中化（所沢村山線）

## 第4節 交通

～ 多様な交通手段を用いて、誰もが安心・安全に移動できるまち ～

### 7-4-1 交通政策の推進

### 7-4-2 安全で快適な交通環境の整備

(千円)

最優先	内方線付き点状ブロック整備事業	交通安全課	新規	H27	20,533	
				H28		
	概要	駅のホームに設置されている視覚障害者誘導用の内方線付き点状ブロックについて、西武鉄道株式会社が整備事業の実施を予定していることから、整備事業費の一部を負担する。			H29	
				H30		

優先	西所沢駅西口開設検討事業	交通安全課	既存	H27	15,202	
				H28	未定	
	概要	平成17年度に改札口開設に関する請願が提出され、平成23年度に自由通路と駅舎橋上化案とする提言を受けた。平成26年度は西口地区住民等との意見交換会を2回開催し整備計画案を策定し、平成27年度は用地の取得を検討するための測量等を行う。			H29	未定
				H30	未定	

重要	交通バリアフリー推進事業	交通安全課	既存	H27	86
----	--------------	-------	----	-----	----

### 7-4-3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実

(千円)

最優先	地域公共交通検討事業	企画総務課 (交通政策室)	指標	既存	H27	1,086
					H28	未定
	概要	平成26年度、庁内検討委員会において、ところバス等の地域公共交通の課題を整理し、将来の方向性について検討を重ねた。平成27年度は庁内検討委員会における検討結果を踏まえ新たな交通手段の導入の検討等、課題解決へ向けた具体的な取組を進めていく。			H29	未定
					H30	未定

優先	市内循環バス運行事業	交通安全課	指標	既存	H27	138,115
					H28	138,115
	概要	ところバスについては、平成10年度より公共施設の利便性向上、市内の交通不便地域の解消、及び高齢者・障害者等の交通弱者対策を図ることを目的に運行している。平成27年度は、引き続きところバスの運行を積極的に周知し、乗降客の利用促進を目指す。			H29	138,115
					H30	138,115

重要	都市高速鉄道12号線導入促進事業	企画総務課(交通政策室)	既存	H27	51
	ノンステップバス導入促進事業	交通安全課	既存	H27	3,600

#### ◆◆◆計画期間における目標指標

「ところバス」利用者数		交通安全課				
現状値	H25 353,217	目標値	H27 363,000	H28 368,000	H29 373,000	H30 378,000
単位：人						
【説明】 公共輸送の充実に対する取り組み状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度の「ところバス」利用者数です。 目標値は、毎年度5,000人の増加をめざすものです。						

ノンステップバスの導入率		交通安全課				
現状値	H25 78.2	目標値	H27 79.5	H28 79.5	H29 79.5	H30 80.8
単位：%						
【説明】 公共輸送の充実に対する取り組み状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度のノンステップバスの導入率です。 目標値は、平成30年度までに80.8%をめざすものです。						



## 第5節 上水道

～ 災害に強く、安全で良質な水が安定して供給されるまち ～

### 7-5-1 水資源の確保と有効利用

(千円)

優先	取水施設保全事業	給水管理課	指標	既存	H27	8,458
			期間: H5～		H28	11,067
	概要	濁水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水施設である井戸管内部の清掃点検や揚水能力の低下したポンプ設備等の取替えを行い、地下水の揚水量を確保していく。			H29	11,272
					H30	11,272

### 7-5-2 安全な水の安定供給

(千円)

最優先	浄水場整備事業(耐震補強事業)	給水管理課	指標	既存	H27	262,332
			期間: H21～		H28	226,285
	概要	浄水場内の配水池の耐震機能を高め、損壊による二次的災害を防止するとともに、災害に強いライフラインの構築による安定給水を図る。			H29	97,334
					H30	338,380

優先	導・送・配水管整備事業	水道建設課		既存	H27	2,258,774
			期間: H23～H32		H28	3,190,000
	概要	老朽化した水道管(導水管・送水管・配水管)について、耐久性、耐震性をもつ水道管であるダクタイル鋳鉄管への更新を行う。			H29	3,240,000
					H30	3,240,000

重要	水道管維持管理事業	給水管理課		既存	H27	172,531
----	-----------	-------	--	----	-----	---------

#### ◆◆◆計画期間における目標指標

自己水源(取水井)の点検実施率		給水管理課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	30		50	60	70	80
単位 : %						
【説明】 濁水時や災害時を含め、水を安定供給するための自己水源の確保・保全に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに通常の維持管理に加え、井戸内部の点検等を実施し、機能保持を確認した井戸の割合です。目標値は、平成30年度までに80%をめざすものです。						

配水池の耐震化率		給水管理課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	25.0		46.7	57.6	60.9	71.7
単位 : %						
【説明】 水を安定供給するための配水池耐震対策に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに耐震対策が完了している配水池容量の割合です。目標値は、平成30年度までに71.7%をめざすものです。						

## 第6節 下水道

～ 災害に強く、生活環境の改善や水環境の保全に寄与する下水道が整備されたまち ～

### 7-6-1 下水道事業経営の効率化

### 7-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全

(千円)

最優先	下水道管渠布設事業	下水道整備課	指標	既存	H27	912,602
			期間: S32～		H28	1,240,900
	概要 生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、市街化調整区域の下水道整備事業を進める。				H29	1,260,000
					H30	650,300

優先	清掃施設周辺整備事業	資源循環推進課		既存	H27	※事業費は「下水道管渠布設事業」に含む
			期間: H10～		H28	
	概要 東西グリーンセンターの建設に伴い、これらの廃棄物処理施設の必要性を理解し、建設等にご協力いただいた地域について、生活環境の向上等を図るため、都市基盤の整備を進めているところであり、その一環として、下水道整備等を実施する。				H29	
					H30	

### 7-6-3 災害に強い下水道整備の推進

(千円)

優先	下水道地震対策事業	下水道整備課	指標	既存	H27	270,169
			期間: H21～		H28	204,100
	概要 緊急輸送道路などに埋設されている下水道管の耐震化を図る「防災」と、被害の最小化を図る「減災」を組み合わせ、災害に強いライフラインの構築を進める。				H29	197,800
					H30	183,800
	下水道長寿命化対策事業	下水道整備課		既存	H27	22,600
			期間: H23～		H28	170,000
概要 下水道管渠施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、下水道施設の延命化を図る。				H29	163,000	
				H30	163,000	

重要	下水道維持管理事業	下水道維持課		既存	H27	425,472
	都市下水路維持管理事業	下水道維持課		既存	H27	27,309

#### ◆◇◆計画期間における目標指標

下水道普及率		下水道整備課				
現状値	H25 92.9	目標値	H27 93.3	H28 93.5	H29 93.8	H30 94.0
単位 : %						
【説明】 下水道普及の取り組み状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度の本市の人口に対して公共下水道を使用できる人口の割合です。 目標値は、平成30年度までに94.0%をめざすものです。						

マンホールの耐震化率		下水道整備課				
現状値	H25 13.7	目標値	H27 51.0	H28 74.5	H29 100	H30 100
単位 : %						
【説明】 「下水道総合地震対策計画」の緊急対策対象路線内で耐震化が必要なマンホール(51箇所)の改修状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度までにマンホールの耐震化が完了している割合です。 目標値は、平成29年度までに100%をめざすものです。						

## 第7節 住宅・住環境

～ 誰もがいつまでも安心して住み続けられるまち ～


### 7-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

(千円)

優先	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	建築指導課	既存	H27	13,250
			期間: H19～	H28	未定
	概要 市民が安全で安心して生活できる災害に強い住環境の整備を促進するため、昭和56年5月以前着工の建築物等の耐震診断・改修に対して補助金を交付する。	H29	未定		
		H30	未定		

### 7-7-2 適正な公営住宅の管理・運営

(千円)

最優先	市営住宅施設整備事業		都市整備課	新規	H27	59,300
				期間: H27	H28	未定
	概要 老朽化する施設について、「所沢市公共建築物修繕計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図る。	H29	未定			
		H30	未定			

優先	市営住宅運営事業	都市整備課	既存	H27	182,822
			期間: S27～	H28	183,839
			概要 住宅に困窮する低所得者に、公営住宅等整備基準に基づく良好な居住環境を備えた低廉な家賃の住宅を提供するため、市営住宅の借上事業等を行うとともに、市営住宅の適正かつ効率的な運営を図るため、市営住宅の管理代行委託を行う。	H29	190,922
				H30	193,726
	市営住宅耐震化・設備改修推進事業	都市整備課	既存	H27	141,252
			期間: H21～	H28	未定
			概要 老朽化により耐震改善が必要な市営住宅について、耐震改修工事を実施する。また、耐用年数を超えて稼働している住宅設備について、改修工事を実施する。	H29	未定
				H30	未定

### 7-7-3 住生活の安定と質の向上

#### ◆◆◆計画期間における目標指標

居住環境の満足度		経営企画課				
現状値	H25 66	目標値	H27	H28	H29	H30
	単位: %		現状値以上			
<p>【説明】住環境に関する取り組みの成果を測る指標です。          現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、お住まいの地域の街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光・通風などの住環境に満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。          目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。</p>						

長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数		建築指導課				
現状値	H25 220	目標値	H27	H28	H29	H30
	単位: 件		660	880	1,100	1,320
<p>【説明】環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標です。          現状値は、平成25年度の長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数です。          目標値は、毎年度、220件の増加をめざすものです。</p>						

